

| 年度 | 住民一人当たり負担額(円) |
|--------|---------------|
| 平成5年度 | 271 |
| 平成6年度 | 527 |
| 平成7年度 | 1,001 |
| 平成8年度 | 1,278 |
| 平成9年度 | 1,674 |
| 平成10年度 | 1,474 |
| 平成11年度 | 1,803 |
| 平成12年度 | 1,980 |
| 平成13年度 | 1,699 |
| 平成14年度 | 1,712 |
| 平成15年度 | 1,704 |
| 平成16年度 | 1,729 |
| 平成17年度 | 1,839 |

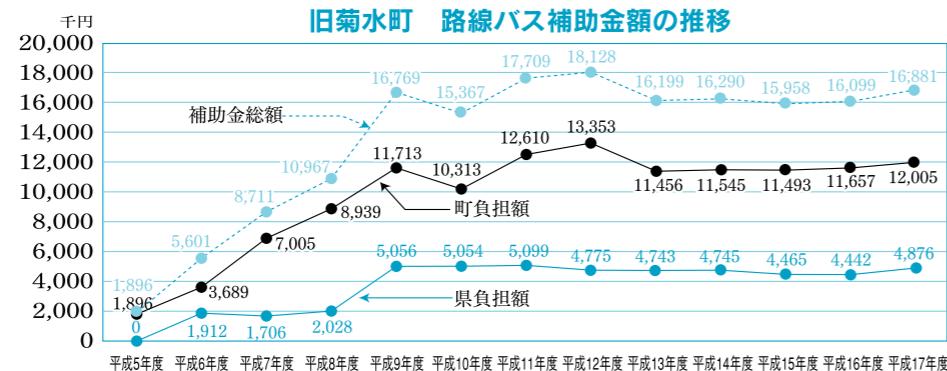


山鹿バスセンター 今年4月1日から新装移転

今年4月から山鹿バスセンターが新装移転し新しくなりました。これで、山鹿バスセンターを起点に路線バスも走っています。もちろん、10月1日からの路線バスの再編でも山鹿バスセンターが起点となり、乗り継ぎがスムーズにできるよう時刻表が組まれています。

問い合わせ先
産交バス山鹿営業所
☎0968-44-6111

路線バス補助金の推移を見てみると、平成12年度の内、県の補助額は477万5,000円)を最高に横ばい



和水町では、1世帯に自家用車を一台（平成年陸運局調査）保有しているという結果がでています。都會とは違い電車やバスといった移動手段が少ない私たちの住んでいる地域では、マイカーが多く利用されています。子ども、お年寄りを除けば1人1台の割合で自家用車を持っていることになります。このよう中、路線バスの利用は年々減少し、運行の維持が難しくなっています。ただ一方で、路線バスは、マイカーを持たない方、子どもたちやお年寄りの方など、皆さんの大切な移動手段とし

て利用されていることも事実です。

1便の利用者が1人未満

現在、町内の路線バスは、菊水地区で12路線、三加和地区で3路線の計15路線を走っています。バス会社が1年間の乗車数を調べたところ、次の路線で1日での利用者が1人未満という結果がでました。

①植木一丁目→植木・江田→南閑上町
(平成17年度実績)
②山鹿産交→下津原→菊水口
マン館前
(平成17年度実績)

町は赤字をバス会社へ
その金額が年々増加して
いる傾向です。

路線バス事業で、町は産交バス株式会社に補助金を支払っています。

運行経費の赤字部分については補助金として負担しているからです。負担は県が半分、残りの半分を町が支払っています。それでは、ここで路線バスが多く走っている菊水地区的路線バスの補助額を見てみましょう。

路線バス補助金の推移を見てみると、平成12年度の内、県の補助額は477万5,000円)を最高に横ばい

ます。それでは、ここで路線バスが多く走っている菊水地区的路線バスの補助額を見てみましょう。

町の補助金が増加することになります。このようしたことから、県は、県の補助金も増加することになります。

補助金の制度の見直しを行い、平成19年度から実施することを決めました。県の補助金を今まで通り将来にわたって維持していくことは困難であり、かつ適切でないと判断されたからです。



スに乗ろう

路線バスの利用を！
平成18年10月1日
新バス路線運行開始（認可申請中）――

町では、皆さんの交通の利便性を確保するため、15の路線バスをバス会社に補助金を支払って運行しています。しかし、乗客が少なく、その補助金額は年々増え、町の財政を圧迫させています。

このような中、今後も交通の利便性を確保するため隣接市町やバス会社との話し合いを行い、荒尾・玉名地域では路線を見直し、平成18年10月1日から新しい路線で運行を開始します。

深刻な問題になつていてるバス問題についてみんなで考え、利用の促進を図つていきましょう。



1日フリー乗車券 熊本県内1日乗り放題

産交バス1日フリー乗車券は、熊本県内範囲限定の路線バスを有効期限の1日間に限り、何回でも自由に乗り降りできるサービスです。また、深夜バス、臨時バスも利用できます。利用範囲、その他のサービスなど詳しいことは下記営業所までお問い合わせください。

有効期限
平成18年11月30日まで

料金
1,000円（大人・小人共通）

問い合わせ先
産交バス玉名営業所 0968-57-0100
産交バス山鹿営業所 0968-44-6111